

# 「地域産業部会」 まちづくり政策提言

# 第8回市民会議（第4回部会）

	短期(すぐにも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)	
<b>ハード</b>	<p>商店街へのバス巡回</p> <p>農業者の所得水準、農業の魅力向上のための土地改良などの農業基盤の強化</p> <p>れんがを利用したデザイン性のある身近なものを商品化</p> <p>れんが、ヤツメウナギの活用</p> <p>歴史的施設の保全活用</p> <p>総合的視野のある企業・ビジネスの進出</p> <p>ユニークな発想の企業</p> <p>札幌近郊でありながら田園風景がある環境の活用</p>	<p>データベースづくり</p> <p>農産物の貯蔵などへの冷熱エネルギーの活用</p> <p>冬に出荷するための貯蔵庫を整備</p> <p>泥炭を暖房に利用したハウスによる農業の周年化</p> <p>川の活用 3つの河川を財産として有効活用</p> <p>河川防災ステーションの道の駅としての再整備</p> <p>河川防災ステーションの活用(親水空間、直売所など)</p> <p>石狩との間で船を運航し、着着場に屋台村を整備</p> <p>石狩川の活用(雄大な流れが眺められる喫茶、カヌー体験など)</p> <p>ヨットハーバーの整備</p> <p>道の駅を整備し、働く場をつくる</p> <p>行政主導の道の駅の整備</p> <p>道の駅を整備し、江別産の食事、食材、スベチンググッズを販売</p> <p>野幌森林公園のフットパスの整備</p> <p>野幌駅から原始林まで行く道の整備</p> <p>野幌森林公園の江別側からのアプローチ(大沢口)の整備</p> <p>人を呼べる大きなイベントホールの整備</p> <p>老若男女が集まることのできるイベントや交流の場、広場の設置</p> <p>大型イベントを開催できるイベント会場の整備</p> <p>宿泊施設の整備</p> <p>インキュベーション施設</p> <p>オフィス&amp;ホール</p> <p>大規模イベント施設(屋内)</p> <p>オフィスビル(低家賃)</p> <p>サテライトオフィス</p>	<p>市民が家庭菜園などの憩いの場として自由に使える農地を長期間貸し出すシステムを構築</p> <p>産官学連携により、農産物から医療・医薬・サプリメント等を開発し、東南アジア方面へ展開</p> <p>流通拠点の創出</p> <p>新しい工業団地の検討</p> <p>工業団地の活性化</p> <p>市民の買い物優待制度</p> <p>大学卒業後の雇用の場づくり(例:介護施設)</p> <p>観光資源のネットワーク</p> <p>市内の観光資源を巡る観光バスツアーの実施</p> <p>遊歩道などによる市内観光施設のルート化</p> <p>元気な高齢者が働ける場づくり</p> <p>道外や海外への企業説明会への参画サポート</p> <p>食の観光</p> <p>企業のアビール方法(どんな企業があるのか認知されていない)</p> <p>マーケティング支援 促進と売込み</p> <p>市外、道外への百貨店催事etc参画サポート</p> <p>江別スイーツetc⇒他と差別化</p> <p>中小小売店の活性化</p> <p>子育て世代の人たちが短時間でも働ける場所が必要</p> <p>若い人が安心して働ける街づくり</p> <p>高齢化社会と産業との関連</p>	
<b>ソフト</b>	<p>情報の収集と発信の一元化</p> <p>農業と産業、大学が一体となって、江別小売などで町おこし</p> <p>食品・農産物加工など江別の産業を活かす企業の誘致</p> <p>若者の雇用を創出できる大型の農業生産法人</p> <p>経済団体への支援(ロータリー、ライオンズ、J C、同友会、工業団地組合、商工会議所)</p> <p>フードコンプレックス特区を活用した産業振興</p> <p>大学と農業、商業、工業の連携の推進</p> <p>江別産の農産物を道外へ売り込む戦略が必要</p> <p>生協の誘致を活かした企業誘致</p> <p>広い土地を活かした集配センターの誘致</p> <p>積極的な企業誘致が必要</p> <p>EBE-1を定例化して江別産をPR</p> <p>農協や個人が新たな取り組みをはじめ際の市の相談窓口の設置</p> <p>農業の後継者対策</p> <p>社員 市内 定着の会社</p>	<p>食による観光の推進</p> <p>江別スイーツとのコラボでやきもの市に若者を呼び込む</p> <p>EBE-1グランプリとやきもの市の同時開催</p> <p>団体、企業のネットワーク</p> <p>新規投資よりも既存の企業の活性化を図る(各業界との融合)</p> <p>地域企業と求職者のマッチング</p> <p>企業体験(学生や一般の人)</p> <p>野幌森林公園の豊富な自然の活用</p> <p>スノーフェスティバルの魅力向上</p> <p>セラミックアートセンターの活用(アクセスの改善も含めて)</p> <p>道立運動公園の活用</p> <p>江別高校跡地のイベント会場としての有効活用</p> <p>高齢者のコミュニティビジネスの取組みによる生きがいづくり</p> <p>過去の遺産の掘出し⇒観光資源</p> <p>企業のPRの方法</p> <p>マーケティング支援 促進と売込み</p> <p>市外、道外への百貨店催事etc参画サポート</p> <p>江別スイーツetc⇒他と差別化</p> <p>工場見学ツアー</p> <p>れんがを活用したイベントの開催</p> <p>企業のPRの方法</p> <p>マーケティング支援 促進と売込み</p> <p>市外、道外への百貨店催事etc参画サポート</p> <p>江別スイーツetc⇒他と差別化</p> <p>食の観光</p> <p>企業のアビール方法(どんな企業があるのか認知されていない)</p> <p>マーケティング支援 促進と売込み</p> <p>市外、道外への百貨店催事etc参画サポート</p> <p>江別スイーツetc⇒他と差別化</p> <p>食の観光</p> <p>企業のアビール方法(どんな企業があるのか認知されていない)</p> <p>マーケティング支援 促進と売込み</p> <p>市外、道外への百貨店催事etc参画サポート</p> <p>江別スイーツetc⇒他と差別化</p>		
<b>まちづくり</b>	<p>江別ブランド</p> <p>市民が江別ブランドを理解して市外へ販売</p> <p>6次産業化により、ブランド力、高付加価値の商品開発</p> <p>市内の食料自給率を上げる取り組み</p> <p>江別市の食料自給率を算出して農業等のPR</p> <p>農産物のブランド化</p> <p>質のよい農産物のPR</p> <p>農家民宿、農家レストランによる地産地消</p> <p>江別の農産物を使ったイベントの開催</p> <p>産業分野の情報戦略</p> <p>野菜直売所、体験型農場のPR</p> <p>江別のやきもの(どんぶりづくり)と小麦(収穫⇒製粉⇒製麺⇒ラーメン)を結び付けて観光資源化</p> <p>野幌森林公園における野鳥の会の人などによる案内ボランティア</p> <p>江別のやきもの(どんぶりづくり)と小麦(収穫⇒製粉⇒製麺⇒ラーメン)を結び付けて観光資源化</p> <p>大森・文京台地区の大学の近くにある空家などを活用したベンチャービジネス</p> <p>若い人を呼び込むための産業・企業が必要</p> <p>企業と学生のマッチング</p> <p>若者が安心して働ける街づくり</p> <p>若い人が安心して働ける街づくり</p>	<p>継続的に取り組むべきもの</p> <p>食産業を江別の柱とし、フードコンプレックス関連で企業誘致と地域農業との連携をとることが必要</p> <p>江別が誇る産業である農業を大切に</p> <p>江別ブランド</p> <p>市民が江別ブランドを理解して市外へ販売</p> <p>6次産業化により、ブランド力、高付加価値の商品開発</p> <p>市内の食料自給率を上げる取り組み</p> <p>江別市の食料自給率を算出して農業等のPR</p> <p>農産物のブランド化</p> <p>質のよい農産物のPR</p> <p>農家民宿、農家レストランによる地産地消</p> <p>江別の農産物を使ったイベントの開催</p> <p>産業分野の情報戦略</p> <p>野菜直売所、体験型農場のPR</p> <p>江別のやきもの(どんぶりづくり)と小麦(収穫⇒製粉⇒製麺⇒ラーメン)を結び付けて観光資源化</p> <p>野幌森林公園における野鳥の会の人などによる案内ボランティア</p> <p>江別のやきもの(どんぶりづくり)と小麦(収穫⇒製粉⇒製麺⇒ラーメン)を結び付けて観光資源化</p> <p>大森・文京台地区の大学の近くにある空家などを活用したベンチャービジネス</p> <p>若い人を呼び込むための産業・企業が必要</p> <p>企業と学生のマッチング</p> <p>若者が安心して働ける街づくり</p> <p>若い人が安心して働ける街づくり</p>	<p>中小企業、商店のネットワーク</p> <p>地域の物流ネットワーク構築</p> <p>物流が必要⇒事業者の協業</p> <p>市内で商業と市民をつなぐ仕組みづくり</p> <p>公共バス</p> <p>配達ネットワークの活用</p> <p>魅力的な街とするため箱物よりもソフト面の充実が必要</p> <p>観光資源のネットワーク化</p> <p>既存の資源を組み合わせた観光パッケージ化</p> <p>今ある地域資源の観光資源化</p> <p>農村地区の観光活用(フットパスなど)</p> <p>市民目線の観光</p> <p>学生の視点による観光プロジェクトの立ち上げ</p> <p>観光の情報戦略</p> <p>江別市内の観光資源化の情報収集</p> <p>えべつ出身の有名な人を呼んだイベントの開催</p> <p>有名な観光大使任命による市のPR</p> <p>中国などからのフィルムコミッションの誘致</p> <p>美味しい店の情報などの観光マップを作成し、駅などに配置</p>	

	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
<b>ハード</b>	<p>商店街へのバス巡回</p> <p>総合的視野のある企業・ビジネスの進出</p> <p>ユニークな発想の企業</p>	<p>データベースづくり</p>	<p>インキュベーション施設</p> <p>オフィス&amp;ホール</p> <p>大規模イベント施設(屋内)</p> <p>オフィスビル(低家賃)</p> <p>サテライトオフィス</p>
<b>ソフト</b>	<p>中小企業振興条例の策定</p> <p>経済団体への支援 ロータリー、ライオンズ、JC 同友会、工業団地組合、商工会議所</p> <p>雇用の安定</p> <p>ワンストップ支援</p> <p>人財のマッチング</p>	<p>新規投資よりも既存の企業の活性化を図る 各業界との融合</p> <p>団体、企業のネットワーク</p> <p>地域企業同士のマッチング</p> <p>企業のPRの促進と売込み</p> <p>企業のアピール方法 どんな企業があるのか認知されていない</p> <p>マーケティング支援</p> <p>過去の遺産の掘出し ⇒観光資源</p>	<p>道外や海外への企業説明会への参画サポート</p> <p>市外、道外への百貨店催事etc参画サポート 江別スイーツetc ⇒他と差別化</p>
<b>ハートづくり</b>	<p>社員 市内定着の会社</p>	<p>高齢化社会と産業との関連</p>	

# 「地域産業部会」 戦略テーマ：6次産業の推進

## 基本コンセプト

食産業を江別の柱とし、フードコンプレックス関連で企業誘致と地域農業との連携をとることが必要

江別が誇れる産業である農業を大切に  
②

## 民間セクター

おいしく安い野菜を活かし、農産物直売所を増やす  
⑤

菊水ととんでんファームのコラボなど既存資源で高付加価値化  
⑤

どんぐりで飼育するイベリコ豚の導入（どんぐりは植樹）  
①

市が主体となった営農指導体制  
巨大市場の札幌をターゲットにした農作物

新規就農を支援する会の発足  
②

新規就農の支援、法人化  
①

市役所職員が江別の街中で飲食しなくなった  
①

作物の世話を請け負うネットを利用した首都圏向けの貸し農園  
①

江別恵庭線に農産物直売所を整備  
①

作付面積・収穫量が北海道1位であるブロックリーを加工して付加価値化

打ち上げ花火の形を使って特産品をPR

輪作体制の構築が必要

れんが、小麦、野菜、チーズで江別ピザを販売

## 継続的に取り組むべきもの

## 短期(すぐにでも)

## 中期(5年程度)

## 長期(10年程度)

## ハード

農業者の所得水準、農業の魅力向上のための土地改良などの農業基盤の強化  
④

農産物の貯蔵などへの冷熱エネルギーの活用  
③

冬に出荷するための貯蔵庫を整備  
②

泥炭を暖房に利用したハウスによる農業の周年化

## ソフト

### 情報の収集と発信の一元化

農業と産業、大学が一体となって、江別小麦などで町おこし  
⑥

食品・農産物加工など江別の産業を活かす企業の誘致  
②

若者の雇用を創出できる大型の農業生産法人

### フードコンプレックス特区を活用した産業振興

大学と農業、商業工業の連携の推進  
④

江別産の農作物を道外へ売り込む戦略が必要

## 食の観光

## ハートづくり

農協や個人が新たな取り組みをはじめめる際の市の相談窓口の設置

農場で繁忙期に働くことで単位をとれるような、農業と大学の連携

農業の後継者対策  
②

学校給食で使う江別産食材を増やし、お昼の校内放送で食材を紹介

## 江別ブランド

## 地産地消の推進

市民が江別ブランドを理解して市外へ販売  
②

市内の食料自給率を上げる取り組み  
④

6次産業化により、ブランド力、高付加価値の商品開発  
③

江別市の食料自給率を算出して農業等のPR

質のよい農産物のPR  
②

酪農公社の牛乳、えぞ但馬牛の地元消費  
②

江別スイーツ、パン、江別ビールのPR  
⑥

農産物のブランド化  
⑤

農家民宿、農家レストランによる地産地消  
⑤

江別の農産物を使ったイベントの開催  
⑤

農産物直売所のPR  
⑤

## 産業分野の情報戦略

野菜直売所、体験型農場のPR  
③

# 「地域産業部会」 戦略テーマ：地域流通のネットワーク化

基本コンセプト

中小企業、商店  
のネットワーク ⑧

地域の物流ネット  
ワーク構築 ⑧

物流が必要  
→商業者の協業 ④

市内で商業と市民をつなぐ仕組みづくり  
市民の買い物優待制度 ①  
公共バス  
配達ネットワークの活用

	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード			
ソフト	<p>生協の誘致を活かした企業誘致 ①</p> <p>広い土地を活かした集配センターの誘致 ①</p>	<p>流通拠点の創出</p> <p>新しい工業団地の検討 ①</p> <p>工業団地の活性化</p>	
ハートづくり		<p>中小小売店の活性化</p>	

部会の議論の結果  
①地元の中小小売店等を圧迫することになり長期的に見て地域の商業衰退につながる懸念があること②その代わり、市内物流ネットワークの構築により市民の利便性、消費機能の向上をはかることにしたため不採用

大型店誘致が重要

地域バランスを考えた大型小売店の誘致

大型SC（アウトレットモール等）の誘致 ③

# 「地域産業部会」 戦略テーマ：観光資源のネットワーク化

**基本コンセプト**

魅力的な街とするため箱物よりもソフト面の充実が必要

**市民目線の観光** ①  
学生の視点による観光プロジェクトの立ち上げ

**観光資源のネットワーク化** ⑤  
既存の資源を組み合わせた観光パッケージ化 ②

**今ある地域資源の観光資源化** ⑥  
農村地区の観光活用(フットパスなど) ①

**不採用**

野幌森林公園の木の生えていない場所へ市民参加による植林 ③

ホテルがみられる場所への標識整備 ③

野幌小学校の木造校舎や自然の活用

防災ステーション近くに水遊び、スケートのできる親水公園を整備 ④

湯川公園を道の駅として整備し、野菜や特産品などを販売 ①

EBE-1や江別ブランドを企業や他市にとられない工夫 ①

市営ライダーハウスの整備 ①

昔チョウザメがいたことを活用

札幌競馬場の誘致

**民間セクター**

エベチュンの活用 ③

シネコンの活用

JR防風林に宿泊・自然体験施設を整備 ①

やきもの市の開催期間の延長

月に2、3回市内のどこかでやきもの市をイベントとして開催

廃校舎や民家の宿泊利用 ②

**継続的に取り組むべきもの**

**観光の情報戦略**

**江別市内の観光資源化の情報収集**

イベント出身の有名人を呼んだイベントの開催

有名人の観光大使任命による市のPR ②

中国などからのフィルムコミッションの誘致

美味しい店の情報などの観光マップを作成し、駅などに配置 ②

	短期(すぐにも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)	
<b>ハード</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>れんがを利用したデザイン性のある身近なものを商品化 ③</li> <li>れんが、ヤツメワナギの活用 ③</li> <li>歴史的施設の保全活用 ①</li> <li>埋蔵文化財センター、文京台小学校の天文台、四季の道の活用 ④</li> <li>北海道有形文化財に指定された土偶の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>川の活用の推進</b></li> <li>行政主導の道の駅の整備 ①</li> <li>道の駅を整備し、働く場をつくる</li> <li>3つの河川を財産として有効活用 ①</li> <li>石狩との間で船を運航し、船着場に屋台村を整備 ③</li> <li>河川防災ステーションの道の駅との再整備 ①</li> <li>大型イベントを開催できるイベント会場の整備 ④</li> <li>河川防災ステーションの活用(親水空間、直売所など) ④</li> <li>石狩川の活用(雄大な流れが眺められる喫茶、カフェ体験など) ⑤</li> <li>道の駅を整備し、江別産の食事、食材、エベチュングッズを販売 ⑥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野幌森林公園のフットパスの整備 ①</li> <li>野幌駅から原始林まで行く道の整備</li> <li>野幌森林公園の江別側からのアプローチ(大沢口)の整備 ①</li> <li>人を呼べる大きなイベントホールの整備 ①</li> <li>老若男女が集まることのできるイベントや交流の場、広場の設置 ①</li> </ul>	<p>宿泊施設の整備誘致</p>
<b>ソフト</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野幌森林公園の豊富な自然の活用 ③</li> <li>スノーフェスティバルの魅力向上 ①</li> <li>セラミックアートセンターの活用(アクセスの改善含めて) ③</li> <li>道立運動公園の活用 ①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場見学ツアー ④</li> <li>江別高校跡地のイベント会場としての有効活用 ①</li> <li>れんがを活用したイベントの開催 ①</li> <li>江別スイーツとのコラボでやきもの市に若者を呼び込む ④</li> <li><b>食による観光の推進</b></li> <li>EBE-1クラブりとやきもの市の同時開催 ③</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>観光資源のネットワーク</b></li> <li>市内の観光資源を巡る観光バスツアーの実施 ④</li> <li>遊歩道などによる市内観光施設のルート化 ①</li> <li>やきもの市や買い物めぐりなどのフットパスコース ①</li> <li>石狩川の川下り体験や水運の歴史学習 ⑥</li> </ul>	
<b>ハートづくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽による商店街への集客・にぎわいの創出(野幌商店街と大学生の連携)</li> <li>野幌森林公園における野鳥の会の人などによる案内ボランティア ②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>EBE-1を定例化して江別産をPR ④</li> <li>江別のやきもの(どんぶりづくり)と小麦(収穫⇒製粉⇒製麺⇒ラーメン)を結び付けて観光資源化</li> </ul>		